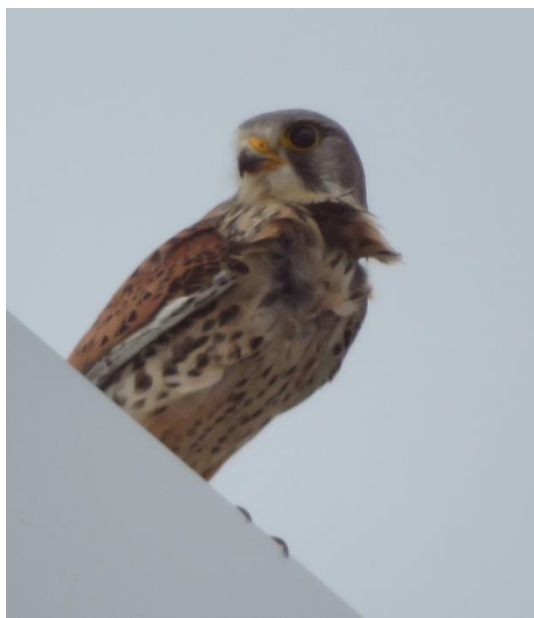


## 令和3年 営巣状況

令和3年の十三崖は、チョウゲンボウの営巣はゼロでした。昨年に引き続き、十三崖で最も成績の良い上流側にある横に細長い巣穴ではハヤブサが営巣し、5月に3羽のヒナが巣立ちました。チョウゲンボウは、3月のハヤブサがその巣にいない時に巣に出入りした個体が確認されましたが、その後はその巣の近くで個体が観察されてたのみです。

その近くで観察された個体は、個体識別により中野市内の他の繁殖地で営巣しているオスであることが確認されています。十三崖は、チョウゲンボウに「気にされている繁殖地」であることは間違いないようです。ただハヤブサの存在などが、チョウゲンボウの十三崖での営巣を難しくしているのでしょう。



横に細長い巣穴近くにて確認されたチョウゲンボウのオス